

令和7年度第2回酒田市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和8年2月20日（金）午前10時00分～10時30分

場 所：酒田市役所3階 第1会議室

出席者：朝岡剛委員、阿曾眞由美委員、高橋美恵子委員、後藤香委員、佐藤晃委員、荒生桂子委員、小野英男委員、奥山悟委員、以上8名

欠席者：岡田恒弘委員、以上1名

事務局：高齢者支援課長、高齢者支援課地域包括支援主幹、高齢者支援課長補佐、地域包括支援主査兼係長、介護給付係長、介護給付係副主幹

1 開 会

2 協 議

- (1) 地域包括支援センター業務を委託された法人の変更について (資料1)  
質疑等なく承認。

3 報 告

- (1) 日常生活圏域再編に伴う地域包括支援センターの体制等について (資料2)

委 員	再編後も地域包括支援センターの名称は変わらないのか。
事務局	地域包括支援センターの名称は変更なし。
委 員	地域包括支援センターに認知症カフェの委託が始まるということだが、現在月1回開催している市主催の認知症カフェは無くしていくのか。
事務局	市主催の認知症カフェは、来年度は隔月開催として年6回の予定。地域包括支援センター主催のカフェを広げていくことで、地域の参加者がより参加しやすい形を作っていく。これから取り組むことになるため、4月からの開催は難しい地域包括支援センターもあるため、準備期間を設け、市でも協力しながら体制を整えていきたい。
委 員	市主催の認知症カフェにスタッフとして関わっている。参加者や関わる皆さんと話しているが、毎月開催のリズムから変化し、参加がおっくうになってしまうことを心配している。せっきく今ある資源で、毎回10名位の参加者で、新規参加者もいる。委託のカフェが優先されるのではという懸念もある。
事務局	来年度の市主催のカフェが隔月開催になることを周知したところ、残念という反応だったと伺っているところ。いただいた意見をもとに実施方法は検討して参りたい。
委 員	生活支援コーディネーターの役割と設置状況は。
事務局	第2層の生活支援コーディネーターは地域包括支援センターを運営する法人に委託し配置。高齢者支援課の第1層生活支援コーディネーターと協力し、地域資源の開発等を行っている。その一環としていきいき百歳体操等を活用した通いの場の立ち上げや継続支援を行い、市内に多くの通いの場が充足してきたところ。

それに加えて、個別の相談対応を通して、地域づくりの観点からネットワークを活用した支援や資源開発に取り組む方向が国から示された。市としてもどういう体制で実施できるか、地域包括支援センターの職員と協力しながら検討してまいりたい。

(2) 地域ケア会議を通して把握された地域課題と今後の対応について (資料3)  
質疑等なし。

4 その他  
特になし。

5 閉会